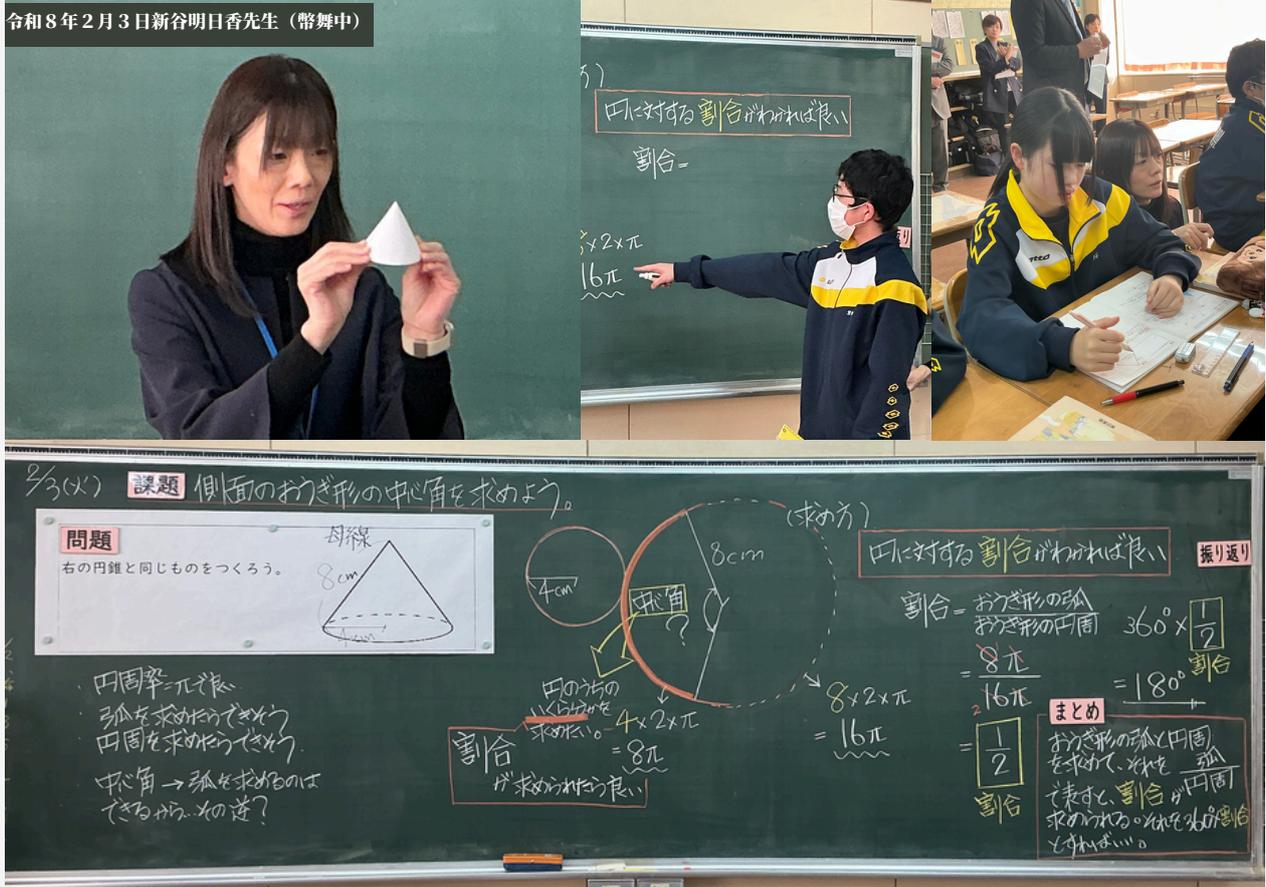


釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



釧路市立幣舞中学校の新谷明日香教諭は、中学1年生の数学において目標を「円錐の側面をおうぎ形として捉え、底面の円周とおうぎ形の弧の長さが同じになることを使って中心角を求める方法を説明することができる」と設定した授業を行いました。導入では具体的な解法を示す前に円錐模型のみを提示し、正確な展開図を作るためには中心角の大きさが必要であるという課題を生徒自らに見つけさせました。生徒たちは、底面の円周と側面のおうぎ形の弧が一致する性質に着目し、母線を半径とする円周とおうぎ形の弧を対比させながら、その割合が2分の1であることを論理的に導き出しました。計算によって求めた中心角の大きさ（ 180° ）に基づき、実際に模型を分解してその角度を確認した瞬間の感動は、確かな納得感につながりました。弧を円周で割って得た割合を 360° に乗じるという骨組みを通じ、知識を生きた知恵へと昇華させました。

事後検討会後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう授業にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 子供の学習状況を的確に見取り、「何がわかったのか、どうしてわかったのか」というところまで確認する。
- ② 本時の目標を達成するために、子供のつまずきを想定しながら教材研究をすることの重要性。



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。

また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

